読者のページ くしまにあ

このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

壊されたスズメの巣

●中村すみ子さん

大束支所に新しい支所長さんが赴任されると同時に、ツバメが飛んできてくるようになりました。まもなくツバメの巣作りが始まり、1カ所は正面玄関左側に、もう1カ所は裏の方と2カ所に作ってくれました。

私は大束支所で10年間お仕事をしていますが、ツバメが飛んできて巣作りをするのは初めての出来事なので、大喜びして、職員一同楽しみにしながら温かく見守ってきました。巣をつくり、卵を産み、雛がかえり、大きくなって巣立って行く日を楽しみに毎日のように観察していました。

ところが、裏の方は少し前に壊され、雛も死んでいて、今度は正面玄関横のツバメが6月29日(月)、またしても何者かに巣が壊され、小さな雛も3羽落ちて死んでいました。おそらく、土曜か日曜日の出来事だと思います。

巣は高いところにあったので、長い棒でつつかないと壊れません。一体誰がこんなことをしたのでしょうか。私たち職員は悲しさと怒りに打ちひしがれてしまいました。

この文を読んで、心当たりのある人は、もう二度とやってほしくはないし、いのちの大切さを考えてほしいと思います。

ツバメの巣は重さに耐えられず壊れたり、カラスなどによって壊されたりすることもあるようです。もし人の仕業であれば、それは悲しいことですね。もしかしたらまた来年飛んできて巣作りをするかもしれません。そのときこそは無事巣立ってくれるといいですね。

「世界の果ての通学路」の上映会を終えて

●串間市婦人団体連絡会 会長　児玉良子さん

道なき道を何時間もかけて通学し、過酷な教育環境の中でも必死に未来を切り開こうとする子どもたちを追った映画でした。

400人を上回るほどのお客さんが見てくださいました。「感動した」「自分の子育てを見直します」「今の子どもたちは自分が恵まれすぎていることに気づいていないのでは」「自分の小さいころを思い出した」「子ども全員に見てほしい」など300枚近くのアンケートで意見が寄せられました。私たちはこのアンケート結果に応えて、積極的に映画を取り組んでくださった学校に益金で映画のDVDを贈ることにしました。

ただ、この映画を見てほしいと思っている人たちの姿が見受けられなかったことが残念に思います。

この映画を取り組んでくださった団体、個人の皆さまには感謝申し上げます。ありがとうございました。子どもは串間の宝です。私たち婦団連も微力ながら子育てを応援していきたいと思います。

日本では子どもたちが教育を受けることが当たり前になっていて、学校へ通えることがいかに幸せかなどと考えることもないかもしれません。この映画上映会を機に、学校に通い、勉強できることのありがたさをもう一度よく考えてみなければなりませんね。

憂う、この国の行く末

●河野浩泰さん

戦争で多くの人が命を、人生を失い、もう今年で70年とテレビなどで聴く。

毎日のように新聞やテレビで目にするいじめによる自殺や殺人事件など、私が小学生だったころは、殺人事件など「えっ、そんな恐ろしいことが都会で」とニュースで時々目にするほどだった。だが今は、毎日のように人が人をアヤメル事件が多すぎる。私も含め、この現代社会は、心を病んでいる人が多くなっている。それにメスを入れるのは、人の心にゆとりと人を愛する思いやりの心だと思う。

事件自体は減少傾向にあるようですが、悪い意味で記憶に残るような事件が起こるせいでそう思ってしまうのかもしれません。痛ましい事件が起きないように日ごろから心にゆとりを持って生活することが大事かもしれませんね。

「広報くしま」では皆さんからのお便りをお待ちしています。楽しかったこと、うれしかったこと、腹が立ったこと、どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

また、すてきな趣味をお持ちの方、市内で活動している団体など、ぜひ広報紙で紹介しませんか。自薦、他薦は問いません。皆さんの連絡をお待ちしています。

●**問い合わせ先**＝総合政策課 情報政策係☎内線338

みんなの広場

福島高生が市街地活性化案をプレゼン

8月21日、福島高校生4人が中心市街地のまちづくりに関する調査、研究の成果についてプレゼンテーションを行い、市街地活性化案としてスイーツカフェを提案しました。プレゼン後は、市職員らとディスカッションを行い、議論を深めました。

中高連携サマースクール

7月29日～31日、市内6中学の3年生約150名が、福島高校で行われた「串間市中高連携サマースクール」に参加しました。

学力向上や中高連携を目的に教育委員会が開催。1日目に中学校教諭による授業、2日目に福島高校教諭による授業や部活動見学、進路座談会などが行われました。また、3日目には学習塾「昴」の講師による授業も行われ、生徒たちは普段とは違う緊張感の中、真剣な様子で授業に臨んでいました。

福島川いかだ下り

8月23日、福島川右岸で「福島川いかだ下り」があり、4艇25名が参加しました。水辺環境に関心を持ち、河川の大切さを認識してほしいと、「ふるさとの水辺環境を守る会」が開催。参加者たちは、手作りのいかだで福島川蔵元橋から金谷までの約2㎞をオールをこぎながら下りました。

夏休みチャレンジ講座開催しました

毎年、夏休み期間中に開催している『チャレンジ講座』を今年も開催しました。「親子で木工教室」や「貝と流木で作品つくり」などさまざまな講座が開かれ、たくさんの子どもたちが参加しました。

自治会だよりの作り方学ぶ

8月20日、総合保健福祉センターで、南那珂地区公民館セミナーが開かれました。元宮崎日日新聞社読者室の小川清一郎氏を講師に迎え、「HOW TO 公民館報（自治会だより）づくり」をテーマに講演。セミナーには各地区の自治会長ら約50人が参加しました。

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください（紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができないことがあります。あらかじめ、ご了承ください）。

①名前（ペンネーム可）②連絡先

③コメントを必ず添えてください。

●Eメールアドレス

info@city.kushima.lg.jp

お便りお待ちしています。

●伝言メッセージ例

じいじ・ばぁばへ

じいじ、ばぁば、いつもありがとう。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん